

数値目標

指標① スポーツ実施率（週1回以上）

H28年
現状値

36.5%



H33年
目標値

50.0%

指標② 総合型地域スポーツクラブの数

H28年
現状値

3団体



H33年
目標値

4団体

指標③ 市民のスポーツクラブ・団体への加入率

H28年
現状値

12.3%



H33年
目標値

30.0%

指標④ 市公認スポーツ指導者の数

H28年
現状値

289人



H33年
目標値

500人

計画の推進体制

関係各課が、市民、スポーツ関連団体、スポーツ指導者、専門家（スポーツ、医療など）、民間企業などと、連携、意見聴取、協力支援の体制を構築し、各施策、具体的な施策を実施していきます。

市川市 スポーツ振興 基本計画

【概要版】



市川市スポーツ振興基本計画【概要版】
平成29年3月

編集

市川市 文化スポーツ部 スポーツ課
〒272-0827 市川市国府台1丁目6番4号

TEL 047-373-3112
FAX 047-372-4290

平成29年3月
市川市

計画の策定趣旨と背景

近年、少子高齢化や情報化の進展、地域社会の空洞化や人間関係の希薄化が進むなど、国内を取り巻く社会環境や価値観が急激に変化している中、スポーツへの期待はますます高まってきています。

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されることが決定し、市民のスポーツに対する関心が高まることが期待され、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会をきっかけにして、スポーツの推進に繋がる施策の展開も急務となるなか、「市川市スポーツ振興基本計画」の見直しを行うものです。

計画の位置づけ

本計画は、国の「スポーツ基本計画」及び県の第 11 次「千葉県体育・スポーツ推進計画」を参照して見直しを行うものです。

市川市総合計画では、施策目標として「スポーツ環境の充実」と設定しており、その目標の実現に向け、本計画に基づき、施策や事業を推進していきます。

計画の期間

本計画は、現行計画の一部見直しを行うとともに、5年間継続することとし、平成 33 年度までを計画期間とします。

また、スポーツ環境の変化や計画の進捗具合などに対応するため、本計画に基づく事業計画を作成し、具体的な取り組みや目標を明確にし、効率的な推進を図っていきます。



基本理念

「健康で、ふれあい生まれる
スポーツのまち、市川」

「健康」、「ふれあい（交流）」をスポーツ振興のキーワードと捉えた基本計画の考えを踏襲し、「健康で、ふれあい生まれるスポーツのまち、市川」を計画の基本理念としています。

計画の基本方針

人づくり

スポーツ振興により、自己実現、生きがいづくり、健全な心身の育成、競技レベルの向上といったことから、市民一人一人の人づくりを目指します。

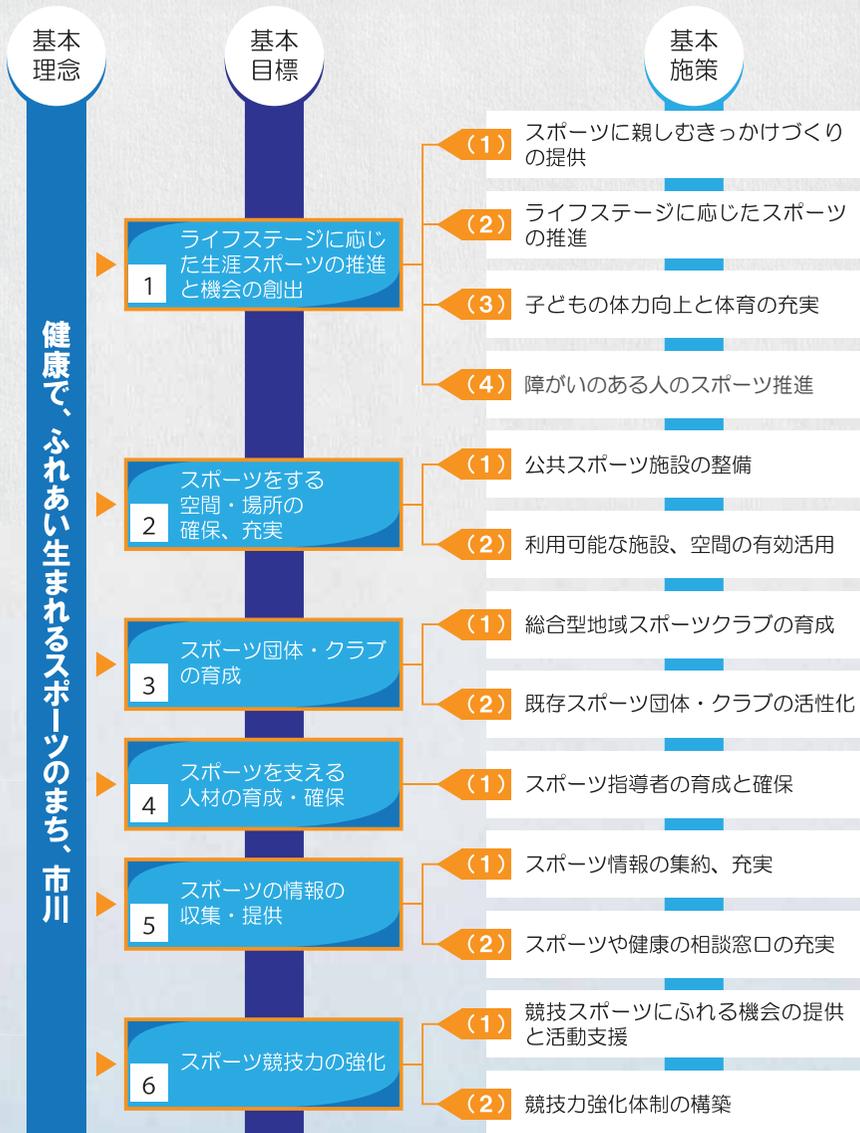
組織づくり

スポーツ振興により、活動の場の増加や、種目の多様化を支え、人と人との交流を生む組織づくりを目指します。

地域づくり

スポーツ振興により、地域間、世代間交流の促進、コミュニティの活性化や地域イメージの向上といった地域づくりを目指します。

計画の体系



施策の展開

基本目標1 ライフステージに応じた生涯スポーツの推進と機会の創出

それぞれの体力やライフステージ、技術、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、だれもがいつまでもスポーツを楽しむことができるよう、スポーツイベント・教室等の実施、スポーツプログラムの開発の検討を行います。

基本施策	方向性
(1) スポーツに親しむきっかけづくりの提供	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に多様なメディアを通し情報を発信していきます。 市民参加の拡大を図るため、教室内容の周知活動に努めます。 市民のニーズを捉え、スポーツを行える機会の提供に努めます。
(2) ライフステージに応じたスポーツの推進	<ul style="list-style-type: none"> 健康意識の向上に向けた健康づくりに関する事業との連携を充実させます。 短時間でできる運動の周知を行います。 年齢や趣向など様々な方を対象としたイベントや教室の実施を行います。
(3) 子どもの体力向上と体育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 子どもがいろいろな運動を行うことができる機会を提供します。
(4) 障がいのある人のスポーツ推進	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者のスポーツを体験する機会を提供します。 障がい者スポーツに関する情報発信の充実を進めます。

基本目標2 スポーツをする空間・場所の確保、充実

スポーツ環境やニーズが変化しているなか、行政だけでなく、スポーツ関係団体、学校など様々な主体が連携・協働し、身近な地域でスポーツを楽しむことができる環境を整えていきます。

また、関連計画と整合性を図りながら、スポーツ拠点の整備を検討するとともに、既存施設の積極的な有効活用を図り、身近で気軽にスポーツ活動ができる空間・場所を充実するなど、市民のニーズに応じたスポーツ情報の提供などのスポーツを楽しむ環境づくりを進めます。

基本施策	方向性
(1) 公共スポーツ施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> 北市川運動公園の開園とともに、スポーツセンターの施設率改善に向けた検討を行います。 関連計画との整合を図りながら、老朽化した施設について、リニューアルや廃止等を含めた計画を検討していきます。 交通アクセスの利便性の向上を図る検討を行います。 スポーツを観戦する場の整備や機会の確保を検討します。
(2) 利用可能な施設、空間の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設開放について、登録団体の利用状況を精査し、有効に活用できるよう、検討を進めます。 身近な場でウォーキングなどに取り組みめる場を確保します。

基本目標3 スポーツ団体・クラブの育成

地域住民が主体の、いつでも、どこでも、だれもが、いつまでもスポーツを楽しむことのできるシステム「総合型地域スポーツクラブ」の普及・啓発を行うとともに、クラブ創設・運営の支援と育成に取り組めます。

基本施策	方向性
(1) 総合型地域スポーツクラブの育成	・総合型地域スポーツクラブの周知を図ります。 ・総合型地域スポーツクラブの運営や指導者の育成を支援します。
(2) 既存スポーツ団体・クラブの活性化	・スポーツ団体・クラブとの協体制の充実を図ります。 ・スポーツ団体・クラブを初めとした地域の団体、取り組みの支援を進めます。

市内の総合型地域スポーツクラブ		
<p>市川スポーツガーデン 国府台</p> 	<p>市川スポーツガーデン 塩浜</p> 	<p>北市川スポーツクラブ</p> 
<p>実施種目</p> <p>卓球 バドミントン バレーボール サッカー テニス バスケットボール エアロビクス ハワイアンフラダンス 太極拳 ランニング教室 チア 健康教室 など</p>	<p>実施種目</p> <p>フットサル ソフトバレーボール 卓球 テニス グラウンドゴルフ フォークダンス ピラティス コアストレッチ スポーツチャンバラ ヨガ など</p>	<p>実施種目</p> <p>サッカー ラグビー テニス ソフトテニス ウォーキング フットベースボール</p>
<p>会場</p> <p>市川市スポーツセンター 国府台市民体育館 中国分スポーツ広場 国府台小学校 市川小学校 東京医科歯科大学 他</p>	<p>会場</p> <p>塩浜市民体育館 青葉少年スポーツ広場 他</p>	<p>会場</p> <p>北市川運動公園 北方多目的広場 他</p>

基本目標4 スポーツを支える人材の育成・確保

市民が、生涯を通して、自己の能力・適性、興味・関心などに応じ、主体的にスポーツ文化を豊かに享受することのできるスポーツライフを構築するためには、その先導者となるスポーツ指導者の育成・確保が必要になります。

子どもから高齢者、障がい者など様々な市民のスポーツニーズに対応した指導者を育成するとともに、スポーツの推進をコーディネートする人材の育成を進めます。

基本施策	方向性
(1) スポーツ指導者の育成と確保	・市川市公認スポーツ指導者制度やスポーツ推進委員についての周知を図ります。 ・市民の要望に対し適切な指導者の派遣するなど、活躍の場を増やしていきます。 ・十分な資質と能力を備えたスポーツ指導者を育成します。

基本目標5 スポーツの情報の収集・提供

いつでも、どこでも、だれもが、いつまでも楽しむことのできるスポーツや気軽に始められる健康づくりの情報発信を実施し、市民のスポーツ参加意欲を高めます。また、必要としている人に情報が届くよう多様な手段を用いた情報提供に取り組めます。

基本施策	方向性
(1) スポーツ情報の集約、充実	・積極的に多様なメディアを通し情報を発信していきます。 ・関連各課との連携を図り、ホームページの案内における情報の一元化や集約を行います。 ・健康づくりや初心者向けのスポーツ教室に関する幅広い情報提供を行います。
(2) スポーツや健康の相談窓口の充実	・スポーツや健康の相談窓口の充実を図ります。

基本目標6 スポーツ競技力の強化

全国的なスポーツ大会、県レベルのスポーツ大会への参加を支援し、市レベルのスポーツ大会の開催や関係団体への助成を通して競技スポーツの拡大を図るとともに、ジュニア選手の発掘・育成、指導者の確保・育成、スポーツ環境の整備などにより、スポーツ競技力の強化を図ります。

基本施策	方向性
(1) 競技スポーツにふれる機会の提供と活動支援	・小中学校体育連盟と連携し選手の育成・競技力の向上に努めます。 ・市体育協会、種目別競技団体等と連携して強化体制を確立し競技水準の向上に努めます。
(2) 競技力強化体制の構築	・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取り組みと合わせて競技力強化体制の検討を行います。 ・学校、企業や、地域スポーツクラブまた各競技団体を総括する体育協会と連携し、小中学生の育成、選手発掘・競技力の向上に努めます。